

「やさい畑クラブ」設置の背景と狙い

今までの工業会活動

支部を中心に各種イベントを企画

して会員に案内

(総会、講演会、見学会、各種懇談会等
各支部の特徴を出そうと努力)

現状

- ・コロナ禍で企画自体が縮小
- ・活動参加者の減少
- ・若手参加者の参加が少ない
- ・人とのつながりができにくい

一般的に

- ・社会での会社以外につながりが少ない
- ・退職後の地域の人との繋がり薄い

身近なテーマを中心にコミュニティ創り

*コミュニティとは

- ・共通な目的、興味により結びついた集団
- ・情報共有、相互支援、意見交換により、参加者の社会的つながりを深め、個々の成長や学びを支える場
- ・気軽に参加
- ・参加者で創り上げていく
やりたいこと、困っていること、
- ・自分の情報を出し、
各自の希望や夢の実現サポート

⇒ 「やさいづくり」をテーマ
(結構人気や興味がありそう)

自分の人生 よりWell Being

支部にとらわれず、オンラインを活用し
小集団活動を増やす
(趣味の会、クラス会、部活動の会等)

人同士のつながりを広げることで
自身の人生をより豊かに持っていく。

オンラインコミュニティ

やさい畑クラブ

- *新規開催(今後定期開催)
- ・10月22日(日) PM7~8:30
- ・WebPAL活動の一つ



まずは、参加してみてください
そこからスタートです

「やさい畑クラブ」スタート 2023年10月

- # 1 : 10月22日 (日) 19:00~21:00
.....
8 : 11月17日 (日) 19:00~21:00

狙い：野菜作りに関して

- ・幅広い知識の共有
 - ・自分の知ってることを提供
 - ・みんなで考える、助け合う
 - ・野菜作り以外でも繋がりを作る
- ・参加会員：22名 (毎回10数人出席)
- ・参加地域：12都道府県
- ・参加年代層 60歳台~80歳台

2か月に1回(奇数月)
第3日曜日にZoomで開催
モデレーター(管理者)：二宗(46M)

ミーティングの内容

* 具体的野菜作りの話

- ・野菜作りの悩み事に対するのアドバイス
- ・困りごと、関心ごとに関して意見交換 (土作り、残債処理等)
- ・各自のやりたいこと、夢の表明 (自分の成果の発表 等々)

* 近況報告、フリートークから参加者同士で交流・関係づくり

＝野菜作り以外の分野＝

- ・所属支部に登録なしの参加者が新たに関係構築
□コミで参加者増えて繋がる
- ・マンションの管理会社の見直しで多忙の話
自分も今後必要で、情報提供依頼
- ・支部からオンライン配信の苦勞
具体的詳細情報交換

* 野菜作りに関して

情報共有、相互支援、意見交換ができ
学びの場になりつつある

* フリートークからの発展

⇒新しいつながり、情報共有ができつつある

**** 一つのコミュニティらしくなっている ****

オンラインコミュニティ

やさい畑クラブ

- * 新規開催 (今後定期開催)
- ・ 10月22日 (日) PM7~8:30
- ・ WebPAL活動の一つ



まずは、参加してみてください
そこからスタートです

2時間のコミュニティ 話と会話の内容

* メインテーマを
その時期に合わせ
事前連絡

* 参加者から積極的な
情報提供と
みんなでの展開

オンラインコミュニティ
やさい畑クラブ

※第5回開催
・5月19日(日)
PM7:00~9:00
・Zoomでの開催

今回のテーマ

- ・夏野菜の栽培状況
- ・使っている肥料のいろいろ
- ・野菜づくりの相談事、情報交換等
(何でも可、写真表示可)

まずは、参加してみてください
そこからスタートです

オンラインコミュニティ
やさい畑クラブ

※第8回開催
・11月17日(日)
PM7:00~9:00
・Zoomでの開催

今回のテーマ

- ・秋冬野菜の状況
- ・タマネギ栽培
- ・野菜づくりの相談事、情報交換等

仲間と繋がって
楽しく、よりワクワク 挑戦!!

参加申し込み(締め切り11月16日)
モデレーター(進行役)
二宗光文(46M:愛知支部)
nishu@post.email.ne.jp



珍しいモノ
づくり

土づくり

栽培状況

やさしい畑クラブ

第4回やさしい畑クラブ実施報告書

開催日:2024年3月17日(日) 19:00~21:30

会場:Zoomによるオンライン会

参加者:島田(横浜)、柳瀬(深谷)、阿部(桂)(三重)、宮田(茨城)、竹内(高崎)、吉平(愛知)
中村(四国)、富澤(前橋)、荒井(佐野)、小西(さいたま)、倉林(平塚)、松原(さいたま)
堤(宇都宮)、森口(四国)、麻生(川越)、二宗(愛知) 合計16名

今回初参加の竹内さん(高崎)は、工業会活動の仲間富澤さんが声をかけての参加であり、このような形で少しずつ仲間が増えてきている。今回はこの時期に合わせて、「土づくり」、「ジャガイモの植え付け」、「春夏野菜の面白い野菜」などをテーマとした。

土づくりでは参加者から事前に自分の取り組みの写真を送ってもらい、それに基づき説明してもらった。

宮田さんはススキの原野を開拓し、それに竹、落ち葉、もみ殻、米ぬかを入れてマルチで囲い半年おく。

森口さんは茅葺き屋根の修理を手伝い、古い茅を活用。など特徴ある取り組みを説明してくれた。そのほかにも自分なりの方法での話が出たが、基本は有機物をはかしの菌を使って堆肥として豊かな土を作るのが基本だということになった。

ジャガイモは今が植え付けの時期であり、皆さんが取り組んでいるテーマである。種イモの切り方、植え付け方で盛んに議論が進んだ。切った面をどちらに向けるか。下のするのがスタンダードだが、逆にしたり、斜め45度という方法も出てきて、それなりに理由もあり、野菜づくりの奥深い部分を紹介された。

食べるや野菜ではないが、楽しめるものとして「藍」や「コキア」の紹介もあった。これらのものは栽培しやすく、ちょっと手を加えるだけで両方も色が非常にきれいで素晴らしい製品になる。自分で種を取り翌年にまいて楽しんでいるということで、希望者には種の提供をするという話に広がっていた。



ススキ



コキア



茅葺き



コキア



藍染め



じゃがいも

この交流会は2か月に1回であり、この間の情報交換としてコミュニケーションツール「Slack」を使っている。無料版は3か月後にデータが順次消えていくので、必要なものをバックアップとして保存する必要がある。これらの検討を若い松原さんをお願いした。

文責 二宗(愛知)

コミュニティとしての コミュニケーションをもっと！

*2か月に1回の開催では・・・もっと

- ・日常の繋がりが薄れる
- ・野菜づくり

その時その時のコミュニケーションが欲しい
(疑問点、問題が起きて困っている等)

- ・日常的な気軽な情報発信
- ・面白い事、相談事・・・

* SNSのツールを活用して
会員間で気楽に
コミュニケーション

「Slack」の導入

- ・テーマごとのチャットが可能
- ・ファイルの共有が簡単
- ・情報の共有がしやすい

等

Slackの使用例



問題点

- ・ Slack無料版は3か月でデータが見えなくなる

対応

- ・ 保存すべき重要データを別のクラウドサービスへ
GoogleDriveに移行 (使用料無料)